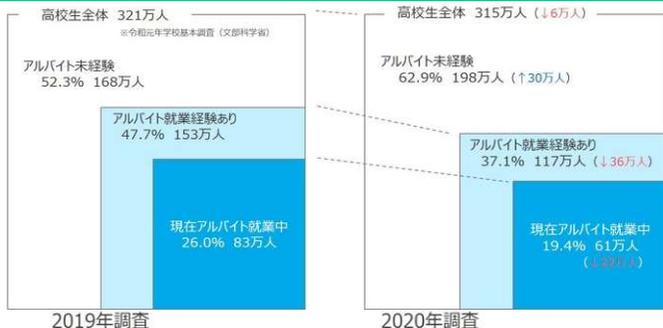


コロナ禍においても変わらない？ 高校生の就労意識調査！

2020年は、新型コロナウイルスの影響が様々な場面であった1年でした。特に外出自粛や人との接触を減らす方針「新しい生活様式」に基づく取り組みを受け、社会生活は大きく様変わりしました。労働者の意向や意欲、勤務先に求める条件においても多くの変化が見られます。今回は、その中でも「高校生アルバイトの実態調査結果」に注目しました。

◎ 2020年度はアルバイト就業者数が減少

右図の通り、2020年の「**アルバイト就業中の高校生**」は、前年より大きく減少。また、「**アルバイト就業経験あり**」の割合も下がり、「**アルバイト未経験**」の高校生の割合が大きく増加しています。これは、コロナ禍において、アルバイト就業を見合わせた高校生が多かったためと考えられます。



◎ 高校生のアルバイト意向は前年と変わらず

「アルバイトをしない理由」として、最も多く選ばれた3項目は2019年度と変わらず。注目すべきは、2020年に新たに上がってきた「**新型コロナウイルス感染のリスクがある**」という回答。非就業者全体の13.0%にのぼります。

もちろん、アルバイトをしていない高校生の中には、「これからアルバイトをしたいと考えている層」が存在しています。

実際の就業者の割合は減少していますが、非就業者内でアルバイト意向のある人の割合は2019年35.6%、2020年39.1%となっており、「高校生の間にやってみようと思う職種」については、2019年も上位であった「**飲食・フード(接客・調理)**」「**販売(コンビニ・スーパー)**」「**飲食・フード(販売)**」の3職種が最も多く選ばれており、就業に関する意向は大きくは変わっていないことがわかりました。

アルバイト非就業の理由

2020年順位 (n=1,400 ※非就業者) (2019年順位)

1位	学校で禁止されている (42.0%)	(1位)
2位	学校生活との両立が難しい (26.4%)	(3位)
3位	時間的な余裕がない (26.3%)	(2位)
4位	アルバイト以外のことを大事にしたい (16.5%)	(4位)
5位	新型コロナウイルス感染のリスクがある (13.0%)	(-)
	何となく不安に感じる (13.0%)	(6位)
7位	高校を卒業してから考えたい (11.2%)	(5位)
8位	希望する条件に合う仕事がない (6.4%)	(8位)
9位	働きたいと思う仕事がない (7.7%)	(11位)
10位	親から禁止されている (7.6%)	(7位)

◎ コロナ禍でもメリットを感じている高校生も

調査結果によると、高校生の約3割が「自発的にシフトを減らすようになった」と回答しています。減らしたシフトの時間は、全体の21.3%が「**スキルアップのための勉強をはじめた**」、20.3%が「**副業を始めた**」と回答しています。また、働く意識においては、「**学ぶことの意識が高まった**」42.6%、「**仕事にやりがいを感じるようになった**」41.2%と、ポジティブに受け止めている意見が目立ちました。

採用市場においても、引き続き新型コロナウイルスの影響が続くとみられますが、その中で**高校生アルバイトの力**は非常に大きな役割を占めていると思います。学生が安心して学業とアルバイトを両立できるよう、働きやすい環境や安全な衛生管理など、できる対策をより充実させていくことが必要となります。

アルバイト採用領域におけるDX (デジタルトランスフォーメーション)化

推進されているDX化とは？

「DX」とは、いわゆるビッグデータやアナリティクスなどのデジタル技術を活用することで、ビジネスモデルや組織を変革することです。

近年、人事や採用の現場で「DX」が注目を集めています。これまで様々な業界でDXが推進されてきましたが、採用領域では遅れをとっていました。しかし、ここ最近ではアルバイト・パートの採用業務においても、DX化が推進され始めています。アルバイト・パートの採用業務でDXが推進されている背景の一つには、「少子高齢化による労働人口の減少」があげられます。また、新型コロナウイルスの感染拡大も、非対面面接やオンラインツールを活用したトレーニングなど、DX化を急速に推し進めました要因の一つになっています。

アルバイト・パート採用でDX化が進められる分野とは？

DX化が進み、採用のあり方に変化が起きている分野として、主に以下の4つの分野があげられます。

採用プロセス

採用業務を一元化・自動化させることで、採用担当者の業務負担を軽減。また、面接や分析にかかる工数の削減にも繋がります。

- 採用活動におけるWEBプロモーション・求人サイト作成
- 非対面面接
- 選考案内・求職者フォローのメール自動送信
- 採用全体のデータ管理

トレーニング・定着

オンライン研修の受講状況や、研修時の課題・目標～達成状況をシステムで管理することで、従業員のスキルアップならびに評価のために情報を活用。また、従業員の仕事に対するやりがいや不満を可視化する機能など、離職率を防ぐためのツールも注目されています。

人材管理

氏名や住所などの個人情報のほか、仕事に対する評価などの管理に活用。既存の従業員のデータを数値化して一元的に管理することで、人材採用時のターゲット設定に活用することもできます。

労務・勤怠管理

バックオフィス業務の自動化ニーズを受け、労務・勤怠管理システムの活用も進められています。社会保険、給与計算、労務管理などを一元管理できるだけでなく、最新の法令や税率にも対応するため管理側の手間を大きく軽減できます。近年はスタッフがスマホをタップするだけで出退勤を管理できたり、シフトを自動作成できたりするスタッフ用のスマホアプリも活用されています。

今後、アルバイト・パートの採用領域におけるDXの推進は、従来の組織や採用のあり方を大きく変えていくと考えられます。長期的にメリットがあるのか、採用の質が下がらない方法であるのかを見極めながら、アナログとデジタルを掛け合わせた、より創造的な取り組みを推進していくことが重要となるでしょう。